

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	どーなつあらお		
○保護者評価実施期間	令和 7年 10月 13日		～ 令和 7年 10月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	令和 7年 11月 3日		～ 令和 7年 11月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別での対応が出来ている。	その子に合った対応・支援が職員全員同じように出来るように心掛けている。	活動のステップアップも含め、職員間で意見を出し合いながらその子に合った支援を考えている。
2	子どもさんが楽しみながら活動出来る課題の提供をしている。	習得できるまで何度も取り組んでもらい、出来た時は褒めて本児の自信に繋げていく。	子どもさんの興味を探し出し、それを使った課題の提供で集中して取り組めるように支援している。
3	年2回(買い物学習・オリエンテーリング)イベントを実施している。	お金を使ったやり取りや、支払うことで物が買える事を実践を通して学ぶことが出来る。 店内での状況把握も実践する事で学ぶことが出来る。	本番では成功体験で終われるように、事前に練習を行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時々スケジュールの流れや活動が固定化する時がある。	スケジュールを回す事に追われ、子どもさん一人一人の活動や情緒の様子まで見れていない。	スケジュールが固定化している時はその都度周りから声掛けしていく。 その場でより良い方法を考えて取り組んでいく。
2			
3			

事業所名	どーなつあらか
------	---------

公表日 令和 8年 3月 20日

利用児童数 令和 7年 10月 31日

回収数 29

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	2		2	・思います。 ・仕切りなどを使って空間の確保もして頂けています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23			6	・思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	1		2	・見学した時工夫されていたと思います。 ・家で分かりにくいなどの発言はないので、大丈夫と思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27			2	・なっていると思います。 ・その子に応じた場所の提供など配慮して頂けています。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1		1	・子どもに合わせて活動内容を考えてくれている。 ・子どもの事だけでなく、親の気持ちをくみ取った支援をして頂いています。 ・思います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29				・思います。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29				・思います。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	2		2	・思います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29				・思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27			1	※回答なし1名 ・子どもの変化に合わせて取り組んで頂けています。 ・思います。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	5	2	4	・あります。 ・利用を始めたばかりで分かりません。	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29				・ありました。 分かりやすかったです。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29				・ありました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	2		3	・利用を始めたばかりで分かりません。 ・正直よく分かりません。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	28	1			・連絡帳のおかげで子どもの成長を感じられる。 ・連絡帳に詳しく書いてあり、共通理解出来てると思います。 ・毎回連絡帳でその日の様子を詳しく教えて頂けてますし、何かあれば相談出来ています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	1		1	・利用を始めたばかりで分かりません。 ・はい。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1			・多分出ているとは思いますが。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	4	15	・正直よく分かりません。 ・利用を始めたばかりで分かりません。 ・少しでも不安な事などがあると、相談させて頂けるようにしてもらえてとても助かっています。こちらの質問等にも直ぐに対応して頂けて心強いです。	
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27			2	・されていると思います。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29				・思います。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	1	1	10	・よく分かりません。 ・連絡帳で教えていただいています。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26			3	・思います。		
非常時 等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2	1	12	・訓練については分からない。 ・面談等でマニュアル（各種）掲示されている。 発生想定での訓練についてはよく分かりません。 ・されているとは思いますが、よく分かりません。 ・訓練については分かりません。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2	1	19	・よく分かりません。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26			3	・されていると思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27			2	・思います。	
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29				・しています。 ・帰ってきた時に子どもが「どーなつ楽しかった」とニコニコしています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	3			・はい、しています。 ・楽しく通所していると聞いています。 ・いつも帰ってきた時に「今日はどーなつ楽しかった」と自分から伝えてくる事が多いです。 ・毎日楽しみに行く事が多いです。 ・「嫌だ」と言いながら帰ってくると教わった事をニコニコして報告してくれます。 ・始めたばかりなので、時々泣きながら行くと聞くのでまだ慣れていないのかなと思う。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	2			・はい、満足しています。 ・満足しています。 ・もう少し先生方と会話が出来れば困っている事など話しやすい。 ・保育園では学べなかった事を教わり、すごく助かっています。 ・達成感があるから、子どもも自信が付いてきていて大満足です。	

事業所名	どーなつあらか		公表日	令和 8年 3月 20日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		職員の休みが多くなると人数不足を感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		各部屋に名前を付けたり、エリアを色分けしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日掃除や換気をしており、玩具や絵本も定期的に消毒している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		随時使用できるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日朝礼や終礼で意見を聞いたり、面談で話が出た事を業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	第三者評価は、行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		朝礼・終礼で随時話し合いをして、子どもの様子を共有している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		共有された情報を見て最適な支援を心掛けている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		子どもの行動をアセスメントし、職員間で共有・確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		子どもの合わせた支援内容が設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		意見を出し合って行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		課題に集中できる活動内容を考えて提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日話し合いをし、連携して取り組んでいる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終礼にて話し合った意見や決定した事を日誌に記入し共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日欠かさず記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		保護者とも連携をとっている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		面談で保護者に情報提供し、随時連絡を取っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳や電話・面談にて伝えている。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		モニタリングや面談で本人や保護者の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		随時悩みや相談に対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		今年度は対象児がいなかった。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7				
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		今年度は対象児がいなかった。	